

## IV. 部門の活動状況

---

## 1. 外来看護科 I

### 1. 概要

2011年からER体制となり2年が経過しました。状態が安定した患者をかかりつけ医に紹介し、急性期の治療や検査、入院が必要な患者の受け入れを行っています。また、患者の重症度を判断し適切に診療につなげることを目的としてトリアージを行っています。患者が安心して受診し、安全に治療が受けられるよう支援する外来看護を目指しています。

### 2. スタッフ

看護師：25名

### 3. 業務内容

救急室・内科急患：救急対応、外来の診療科で発生する検査、処置、入院の対応、造影CT  
内視鏡室：上部・下部内視鏡検査、大腸EMR、ESD等の検査、緊急内視鏡の対応  
放射線科検査：CAG、アンギオ、TAE、気管支鏡、PTCD、ERCP、緊急検査対応

### 4. 教育研究活動

第13回全国民医連消化器研究会 演題発表  
埼玉県内視鏡技師研究会  
第1回全国民医連救急医療研究会 演題発表  
第8回カテーテル看護セミナー  
日本在宅医療学会学術集会外来化学療法実践セミナー  
第26回日本がん看護学会学術集会  
第14回日本救急看護学会学術集会  
第8回日本クリニカルケア看護学会学術集会  
第11回全日本民医連看護介護活動研究交流集会 演題発表

## 2. 外来看護科 II

### 1. 概要

健康増進センターと専門外来（精神科デイケア含む）の2箇所を担当しています。健康増進センターでは健診の実務業務（日常・休日・巡回）と特定保健指導活動、結果返し業務を行っています。専門外来では専門科のチームの一員として、専門性の高い看護をめざし、質の高い療養援助を患者様に提供できるよう各担当者が活動しています。

### 2. スタッフ

保健師：8名 看護師：7名

### 3. 業務内容

〈健康増進センター〉

日常健診・巡回健診・日曜健診：採血、婦人科検診介助、胃検診介助、問診、各種計測、検査説明、ワクチン接種

保健指導：特定保健指導、日常健診時の保健指導、健診結果返し

〈専門外来〉

精神科デイケア、看護師問診、看護外来、フットケア外来、糖尿病透析予防、はじめ外来、禁煙外来、診療介助、処置介助

### 4. 教育研究活動

埼玉県主催特定保健指導実務者講習会  
日本人間ドック学会学術集会参加  
日本糖尿病療養指導士資格取得  
日本禁煙科学会禁煙指導士資格取得  
日本糖尿病協会カンパッションファシリテーター研修修了／日本糖尿病合併症学会学術集会参加／日本糖尿病学会学術集会参加  
糖尿病学の進歩参加  
全日本民医連糖尿病シンポジウム演題発表  
全日本民医連消化器研究会演題発表

### 3. 外来看護科 Ⅲ

#### 1. 概要

整形外科（1階B館エリア）、外科・眼科・耳鼻科・泌尿器科（1階C館エリア）、化学療法室（2階F館エリア）、皮膚科（1階D館エリア）の7つの分野に分かれています。

患者会「ひまわりの会（乳がん）」「卯月の会（ストマ）」の2つの患者会の運営に努め、患者へ寄り添い身近な看護師としての役割を担っています。

2010年10月から化学療法室を開設し、8床の運用を開始し3年目を迎えます。

2013年度からがんセンターボードを設置し乳腺・呼吸器内科・消化器内科・外科の4つの分野の定期開催を行う予定です。

#### 2. スタッフ

看護師 20名（がん化学療法認定看護師1名配置）

#### 3. 業務内容

整形外科：骨折・股関節の手術前の管理 骨粗鬆症の生活指導 腰痛体操

外科：がん患者の手術や消化器の手術全般の管理 乳腺外来 切創処置

眼科：花粉症 白内障手術 視力・眼底・眼圧検査 レーザー治療 視疑検査

耳鼻科：経鼻咽喉頭鏡検査 花粉症 慢性副鼻腔炎 吸入指導

皮膚科：アトピー皮膚炎 尋常性乾癬 ケミカルピーリング／イオン導入治療

泌尿器：膀胱炎 排尿障害 前立腺腫瘍 膀胱鏡検査 骨盤底筋体操 自己導尿指導

化学療法室：化学療法（日帰り） ポートフラッシュ

#### 4. 教育研究活動

- ・埼玉民医連 学術・運動交流集会演題発表
- ・看護学会演題発表
- ・全日本民医連消化器研究会（埼玉）演題発表

### 4. 透析室

#### 1. 概要

当院の透析室は30床で入院透析と外来維持透析をおこなっており、入院患者では、糖尿病外来や腎外来からの透析導入が多く、他疾患での入院が必要な透析患者様に対応しています。

患者様のみならず、ご家族とも連絡をとりあい、患者様が安心して透析治療を受けられQOLの向上に努めています。

#### 2. スタッフ

医師：4名 看護師：9名 臨床工学技士：9名（ME管理科、医療機器管理業務を兼務）

#### 3. 業務内容

午前透析コース1クールを 月・水・金 火・木・土コースで実施

毎日の回診は曜日により担当医師が決まっております。

毎日透析終了後には、その日の全患者様についてのミニカンファレンスで、問題点と次回の対応について話し合っています。毎週水曜日には他職種参加での合同カンファレンスを開催しています。

シャント狭窄の患者には1泊入院でPTAをおこなっています。

臨床工学技士は病棟での緊急透析に備え交替で待機の体制をとっています。

#### 4. 透析件数

外来患者数 約45名 入院患者数 25名前後  
で年間透析件数 8540件

#### 5. 教育研究活動

日本看護協会看護学会学術集団会  
埼玉アクセス研究会  
血液浄化療法基礎セミナー

#### 6. その他

2012年度は記録の改善にとりくみ、サマリーや合同カンファレンスの記録の帳票化を行っています。

## 5. 手術室 看護科

### 1. 概要 特徴、特色

埼玉協同病院手術室は2009年9月に現在のF館3階に新設されました。手術室は全部で5部屋あり、そのうちの1室がBCR(バイオクリーンルーム)です。

### 2. スタッフ

手術室長 西川毅 麻酔医

外科医師：8名 整形外科：4名

泌尿器科：1名 産婦人科：6名 眼科：1名

看護師：15名 看護助手：4名 事務：1名

AW(委託業者)14人

### 3. 業務内容

・各手術への対応。器械出し業務・外回り業務

2012年度手術件数

手術室オペ件数	2,031
内 全麻	1,261
外科	614
整形外科	730
婦人科	178
産科	139
眼科	230
泌尿器科	140

・機器の洗浄・滅菌。

・麻酔外来での問診と手術・麻酔説明。

2012年度麻酔外来総数 1174件

麻酔科病棟往診 371件

・術前・術中・術後訪問。

### 4. 教育研究活動

年間教育計画に基づき、年12回の部門内学習会を実施。

年2回開催されている埼玉県手術室情報交換会へ出席。

2012年度民医連運動交流集会 演題発表

2012年度医療生協看護学会 演題発表(2演題)

## 6. 看護サポート

### 1. 概要

私たち看護サポートは看護師の指導のもと、日々の業務を遂行しています。また看護部門のメンバーとして年間教育計画に基づき職員の力量向上や能力開発に努め、診療補助支援と患者様が気持ちよく、安全に療養できるよう環境整備を行っています。

### 2. スタッフ

35名

### 3. 業務内容

【早番・日勤・遅番業務】 【内視鏡業務】

・モーニングケア

・内視鏡ファイバーの洗浄・消毒

・検査移送 ・履歴管理

・配膳・下膳・食事介助

・排泄介助 ・療養環境整備

・リネン類・衣類リース管理

・車椅子の定期点検・補修管理

・セミクリティカル・ノンクリティカル洗浄・消毒

【手術室業務】

・手術が安全にスムーズに実施できるように様々なサポート業務を実施

### 4. 教育研究活動

【2012年度教育学習実績】

・接遇マナー研修

・医療安全学習会(暴言・暴力対策の基本・車椅子・食事介助研修・ひやりハット事例学習・BLS一次救命措置学習・摂食嚥下障害学習)

・個人情報管理学習

・環境エコ学習(感染性廃棄物処理学習・節電取り組み学習)

・感染対策学習(感染対策の基礎知識・感染別対策学習) ・医療倫理学習

・グリーンケア学習

## 7. C2病棟・ICU看護科

### 1. 概要

2011年9月にICU 4床を開設し、2年目を迎え、ICUの質の向上を目指し、ICU回診を開始し、多職種で患者様に関わる体制を整えてきました。また、4月に総合内科を開設し、医師の初期研修の場として、医師・看護師が共に学び合う環境を目指して活動してきました。

### 2. スタッフ

保健師：4名 看護師：24名 准看護師：1名

### 3. 業務内容

ICUでは救命と生命維持の安定・回復を図るため、集中的な治療・管理と看護援助を行っています。

総合内科では、さまざまな疾患の患者様が入院され、社会背景が複雑なケースが多く、医師やコメディカルスタッフとチームを組んで、患者様にとって、安全・安心な医療を提供できるよう日々研鑽しています。

ICU回診・・・月曜日～土曜日 9:30～

参加スタッフ：医師・看護師・管理栄養士・臨床工学技士・薬剤師・リハビリスタッフ

病棟カンファレンス・・・木 14:00～

看護カンファレンス・・・月～土 11:00～12:00

### 4. 教育研究活動

- ・関東甲信越集中治療医学会参加
- ・FCCS プロバイダー研修
- ・川口医療センター  
(認定看護師より 集中ケア講座)
- ・BLS    ・ACLS
- ・第20回 埼玉看護研究会発表  
実践力向上に向けたBLS研修の取り組みと今後の課題 ～ブレンディッドラーニングを試みて～

## 8. C3病棟（産婦人科）看護科

### 1. 概要

産科と婦人科の混合病棟です。女性のライフサイクルに深く関わる部門として、妊娠・出産・産後という周産期の女性や家族へのケアを中心に活動しています。総合病院の産婦人科という特徴から、内科疾患（精神疾患・甲状腺疾患・妊娠糖尿病など）を合併されている妊産婦も少なくありません。誕生したばかりの新生児から高齢の方まで、幅広い年代の方に関わる看護をしています。

### 2. スタッフ

助産師：24名 看護師：4名

産婦人科外来と病棟の両方を、助産師・看護師で担当しています。

### 3. 業務内容

2012年分娩件数：534件

家族立会い率：90%（うち分娩室、手術室内立会い89%）

帝王切開率：24%（うち帝王切開立会い89%）

婦人科では周手術期の患者様や切迫流産で安静入院の患者様が入院され、2012年度末からは眼科の手術患者様も入られるようになりました。

### 4. 教育研究活動

- ・埼玉県看護協会 新人助産師養成講座
- ・「妊娠期のケア」に講師派遣
- ・命の授業 ・班会「卒乳について」など

### 5. その他

助産師・看護師とも得意分野を伸ばしながら、日々妊産婦とその家族、入院患者様を第一に考えた産婦人科を目指してがんばっています。産婦人科が始まった当初から続く両親学級「うぶごえ学校」、助産師による「命の授業」、助産師外来「ひだまり」、マタニティ・ヨガ、じいじ・ばあば教室も行っています。小児科や地域とも連携し、子育て支援がとぎれないよう心がけています。

## 9. C3病棟 (小児科) 看護科

### 1. 概要

小児科外来と病棟で連携している部門です。

主に小児科、新生児から中学3年生までの小児の看護をしています。

外来では午前的一般外来、乳児健診、予防接種、小児心理外来、発達外来、アレルギー外来、小児循環器外来、腎外来を行っています。

### 2. スタッフ

助産師：1名 看護師：11名 保育士：1名

小児科外来と病棟の両方を担当しています。

### 3. 業務内容

肺炎や敗血症などの感染症、喘息、川崎病、ネフローゼ、アレルギーの検査入院などの患者様が入院され、2012年度末からは小児の整形外科の周手術期の患者様も受け入れるようになりました。小児の入院では対象となるお子様だけでなく、付き添われる家族へのケアも大切に考えて看護しています。また、それぞれの発達も考え月齢・年齢に合わせた保育を保育士と協力しながら行っています。また、最近では成人の無呼吸症候群の検査入院の受け入れも行い、子どもから成人期まで幅広い年代の方と接する機会ができました。

### 4. 教育研究活動

- ・子育て教室、ベビーマッサージ、喘息教室
- ・命の授業                      ・班会
- ・小児医療研究発表会

### 5. その他

プレパレーションやディストラクションを活用し、子どもの年齢や発達段階に応じ検査や病状説明に力を入れています。入院している子どもに対し子どものストレスが発散できるようにキアニスドールも活用しています。

## 10. C4病棟 看護科

### 1. 概要

消化器疾患の患者様を対象に医療の提供を行っています。内視鏡検査や治療目的の患者様を多く受け入れています。

### 2. スタッフ

保健師：3名      看護師：28名

### 3. 業務内容

消化器を中心とした内科疾患の患者様に対して、医師・看護師・コメディカル（PT、ST、OT、栄養士、MSW）とチーム医療を展開し、患者様の生活の質の向上（QOL）に努めています。内視鏡検査・治療目的の患者様も多く、入院数の多い大腸ポリープ切除術（EMR）は2012年度、278件の受け入れを行いました。稼動病床は50床で患者様の個々に応じた安全で安心な医療提供をめざしています。

### 4. 教育・研修・研究活動

- ・第13回全国医連消化器研究会 演題発表
  - 1) 病棟看護師の内視鏡研修に取り組んで
  - 2) 総合アセスメント表を使用して～NSTに対するスタッフの意識変化～
  - 3) がん患者がその人らしく行き抜く為の支援～病棟を超えた患者支援を行って～
- ・ELNEC-J 聖路加～すべての人ナースのためのエンド・オブ・ライフ・ケア

## 11. C5病棟 看護科

### 1. 概要

C5病棟は、呼吸器内科・総合内科の混合病棟です。

### 2. スタッフ

保健師：5名 看護師：25名

### 3. 業務内容

肺炎などの急性疾患、慢性の呼吸器疾患、肺癌の化学療法を受ける患者様や緩和ケアの必要な患者様の療養の介助を行っています。高齢の患者様が多く、疾患や社会背景も複雑なケースが多いので、医師やコメディカルスタッフとチームを組んで、情報共有し、医療の実践を行っています。

\*病棟回診……月曜日

\*病棟カンファレンス……火曜日 16時～

\*リハビリカンファレンス……月曜日 16時～

\*気管支鏡検査……水曜日・金曜日（2012年度：104件）

### 4. 教育研究活動

- ・日本在宅医療学会学術集会外来化学療法実践セミナー
- ・聖路加国際看護部主催第9回看護実践講座
- ・第27回医療関連感染予防セミナー

## 12. D2病棟 看護科

### 1. 概要

変形性関節症や脊椎、骨折や外傷などの疾患が多く、手術や急性期の治療・処置を必要とする患者様の受け入れをしています。

### 2. スタッフ

看護師：30名

### 3. 業務内容

周手術期看護を中心とした病棟業務。

2012年度の手術件数は647件です。

変形性股関節症（THA）115件

整形手術全件の20.2%

変形性膝関節症（TKA）85件

整形手術全件の13.1%

当診療科では「コンピューター手術支援用ナビゲーションシステム」を用いた人工関節手術を行っています。さらに最近では両側手術が増加しているのも特徴です。

「コンピューター手術支援用ナビゲーションシステム」とは：

- ・人工関節置換術を行う際、CTの画像情報を利用して、手術計画の立案とシミュレーションを短時間で行うことができます。
- ・車のナビゲーションのように高い精度で手術器具を誘導し、人工関節は計画された最適な位置へ設置されます。

### 4. 教育研究活動

年間教育計画書に基づき活発に実施しています。新人看護師には手術室の協力のもと手術見学も実施しています。

学会認定自己血輸血看護師、認知症ケア専門士も在籍しており整形看護師として知識や技術を高め合い日々奮闘しています。

## 13. D3病棟 看護科

### 1. 概要

消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、一般外科、泌尿器外科、皮膚科の手術や急性期の治療・処置を必要とする患者様の入院を受け入れています。

### 2. スタッフ

保健師：5名 助産師：1名  
看護師：25名

### 3. 業務内容

各手術の術前術後の看護、リハビリ室（回復室）4床があり、術直後の患者様の看護と周手術期の看護をしています。

入院で行う術前・術後の化学療法を受ける患者様の受け入れもしており、初回実施後は外来化学療法へ移行しています。

がんの終末期の患者様も入院され、在宅調整や入院中のお看取りも行っています。

内視鏡を使用して行う手術（術後の侵襲の少ない）を多く行っています。

### 4. 教育・研修・研究活動

BLS（プロバイダー）

自己血輸血学会認定看護師

乳がん看護認定看護師教育課程修了者

緩和ケア認定看護師

感染看護認定看護師

## 14. D4病棟 看護科

### 1. 概要

D4病棟は循環器・糖尿病・腎臓病・脳梗塞や脳出血などの血管障害の患者様が入院されている混合内科病棟です。

### 2. スタッフ

保健師：10名 看護師：14名

### 3. 業務内容

狭心症でPCI（経皮的冠動脈形成術）・CAG（心臓カテーテル検査）のために入院する方、不整脈によりペースメーカーを挿入される方、糖尿病コントロール入院される方や合併症により脳梗塞を発症された方、慢性腎不全で透析導入目的のために入院される方等の受け入れを行っています。

介護度や重症度が高い中、多くの入院を受け入れられる様にコメディカルと連携し退院調整しています。

### 4. 教育研究活動

・BLS

・ACLS

・埼玉看護協会第7支部研究発表会 発表

・日本静脈経腸栄養学会参加



## 15. D5病棟 看護科

### 1. 概要

D5病棟は回復期リハビリテーション病棟です。

### 2. スタッフ

看護師：18名          介護士：9名  
セラピスト：25名  
医療相談員：2名      病棟事務：2名  
薬剤師：2名          栄養士：1名

### 3. 業務内容

急性期治療の終了した脳卒中や骨折・関節疾患の手術後の患者様に対して、身体機能や日常生活動作の能力の向上、在宅生活や社会復帰を目標に、集中的にリハビリテーションを実施します。

2012年、新たな取り組みとして振り返りが必要と考えられる症例を検討する症例検討会を月に1回開催してきました。

急性期病院における回復期リハビリ病棟として、治療を終えた患者様を1日でも早く受け入れ「その人に寄り添い、その人らしい生活の再構築を支援する」ため、私たち専門職が一丸となって日々取り組んでいます。

### 4. 教育研究活動

- ・埼玉民医連 学術・運動交流集会演題発表
- ・看護学会演題発表

## 16. 薬剤科

### 1. 概要

特徴：医薬品の  
適正使用の推  
進による治療  
効果の向上と

私たちは、安全な薬を、  
安心・納得して使える  
社会をつくるために  
働きます

副作用の予防による患者利益への貢献、病棟における薬剤（注射剤、内服剤等）に関するインシデント・アクシデントの減少、薬剤師の専門性を活かしたチーム医療の中で責務を果たせるように業務に取り組んでいます。

特色：

- ①部門編成変更 資材課の医薬品部門が薬剤センターとして薬剤科に統合  
薬品と情報の一元管理
- ②外来院外化・病棟薬剤業務実施加算の算定  
病棟へのシフトを実現し、チーム医療の展開と病棟薬剤師の本来業務を遂行する
- ③注射薬自動払い出しシステム（アンプルピッカー）の導入。1患者1施用への対応  
取り間違い防止など安全確保
- ④後継者育成 高校生1日薬剤師体験33名  
実務実習受け入れ：Ⅱ期2名、Ⅲ期2名、インターンシップ2名 受け入れ

### 2. スタッフ

2012年12月現在 薬剤師22名・パート3名・助手3名

資格：日本病院薬剤師会認定薬剤師2名、日本薬剤師研修センター認定薬剤師6名

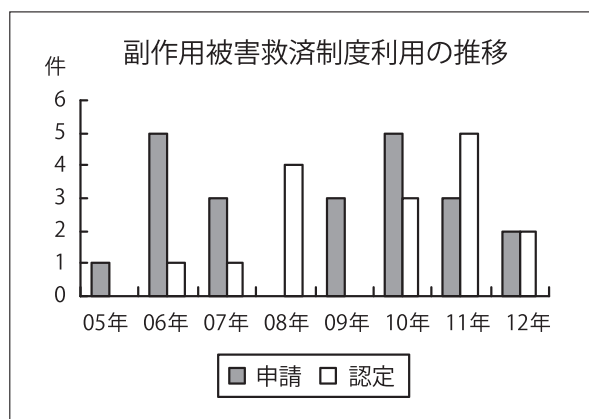
糖尿病療法指導士2名、漢方薬・生薬認定薬剤師3名、抗菌化学療法認定薬剤師2名 NST 専門療法士1名、認定実務実習指導薬剤師3名

### 3. 業務内容

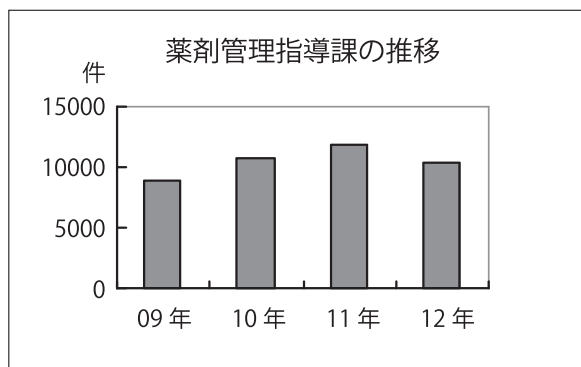
- ・調剤室



- 外来及び入院調剤
- 処方箋監査
- ・症状にあった薬かどうか
- ・年齢と体重からの薬の量
- ・副作用
- ・薬の飲み合わせ
- ・血液検査異常など検査値の確認 ・薬の数が合っているかの確認など ・なにか問題があれば、その都度、医師と相談して薬を決めています。
- ・薬事・DI室
  - 薬品発注及び検品
  - 薬品使用状況の把握と適正在庫の運用管理
  - 麻薬、向精神薬、毒薬、抗がん剤、その他特殊薬剤の在庫管理
  - 医師や他職種からの医薬品情報対応
  - DI ニュースの発行 11回/年
  - 医薬品集の改訂作業
  - 薬事委員会の資料作成



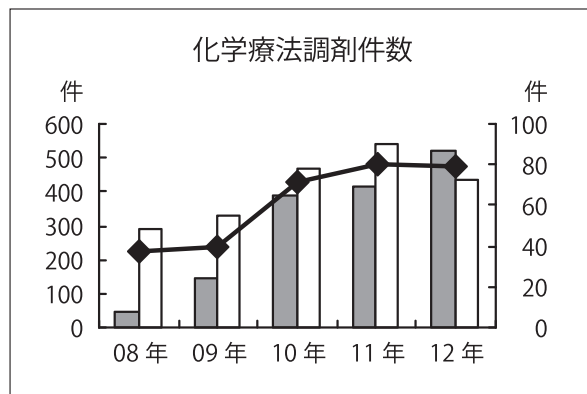
- ・薬の使用評価 (薬の効果、副作用、価格など総合的に評価)
- ・医薬品情勢の最新情報を院内に発信 (ジェネリック薬品、新薬、販売中止品、副作用など)
- 副作用報告の情報収集及び厚生労働省・全日本民医連への報告
- ・過去の薬害問題をふりかえり、二度と起こさせない為の努力
- 地域の院外薬局との薬薬連携 (処方箋内容の問合せ情報共有、学習会)
- ・薬剤管理指導業務
  - 病棟服薬支援
    - ・内服薬、点滴の説明や副作用の聞き取り・検査データ確認
  - 配薬カートへの配薬
  - 持参薬の確認及び管理
    - ・持ち込み薬の管理 (入院前から飲んでいた薬・健康食品・サプリメントの確認)
  - チーム医療の一員としてカンファレンスへの参加



- ・注射セット室
  - 注射薬個人別取り揃え
    - ・注射薬の準備と適正使用のチェック (量、点滴速度、濃度、カロリーなど)
  - 抗がん剤の調整・レジメン管理
    - ・複数名の薬剤師による事前チェックと安全キャビネットによる混注
    - ・ベッドサイドに行き、薬剤に対する不安や副作用の早期発見などの取り組み
  - 院内特殊製剤の製造及び管理

## ○ TPN 調整業務

- ・クリーンベンチで混注後の安定性・配合変化を考え混注



## 4. 教育研究活動

## 《外部発表》

- ・第27回日本静脈経腸栄養学会 1題
- ・日本感染症学会 1題
- ・日本病院薬剤師会関東ブロック第42回学術大会 2題
- ・第20回関東・北関東甲信越地協薬剤師交流会 1題

## 5. その他

8/24は薬害根絶デーです。薬害歴史のパンフレットやチラシを折り込んだポケットティッシュの配布を通し、利用者・職員に広める活動を行いました。当日、民医連のつどいでは『薬害根絶 Day～埼玉協同病院薬剤科の活動』『…だから私たちは医薬品を評価し選択する』の2演題を発表しました。



厚生労働省にある「誓いの碑」です

## 17. 検査科

作成 大久保智子

## 1. 概要

2011年4月より検査医の村上純子医師が臨床検査部長として着任し、現在に至っています。2012年4月に主任の大久保智子が検査科科长に就任し、緊急検査室を管轄する大山美香技師、病理・細菌検査室を管轄する金泉恵美子技師が主任に任命されました。新任科長・新任主任の中、新卒技師4名を迎え教育研修を第一に考えた年でした。2012年4月に緊急検査室より輸血室を独立させ、I&A施設認定を取得しました。

## 2. スタッフ

医師 1名 村上純子 (臨床検査専門医・輸血専門医・血液専門医・血液指導医・ICD)  
臨床検査技師 35名 (常勤 25名 非常勤 10名)  
細胞検査士 4名 国際細胞検査士 4名  
認定 超音波検査士 (消化器) 4名  
認定 超音波検査士 (表在) 4名  
認定 超音波検査士 (心臓) 1名  
2級検査士 (血液) 3名 2級検査士 (病理) 2名  
2級検査士 (細菌) 1名  
一般臨床検査士 1名

その他の資格として取得されているもの：一般毒劇物取扱者／第1種衛生管理者／食品衛生管理者及び食品衛生監視員／健康食品管理士／有機溶剤作業主任者／特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者

## ◆臨床検査専門医の立場から

臨床検査専門医は、臨床検査に関する幅広い知識と技術を有し、問題解決に当たることを職務とする医師です。その守備範囲は臨床血液学、臨床生化学、臨床免疫学、臨床微生物学および輸血学等、臨床検査全般に渡ります。

平成8年度の診療報酬改定以降、検体検査管理加算が実現しました。平成23年度からは、臨床

検査専門医が中心となって検査科として一定の要件を満たすことで、検体検査管理加算Ⅳ（1入院500点/月）の算定が可能になりましたが、当院ではこの「加算Ⅳ」を取得しています。

臨床検査専門医の主な Client は医師と臨床検査技師ですが、同時に Co-worker でもある臨床検査技師と力を合わせて、当院の検査科の Quality が一層向上するよう、日々努力しています。

臨床検査科 部長 村上純子

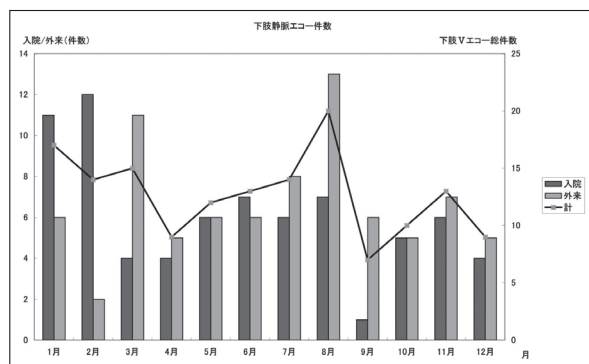
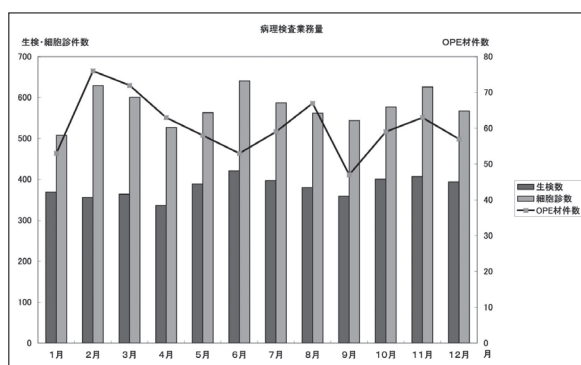
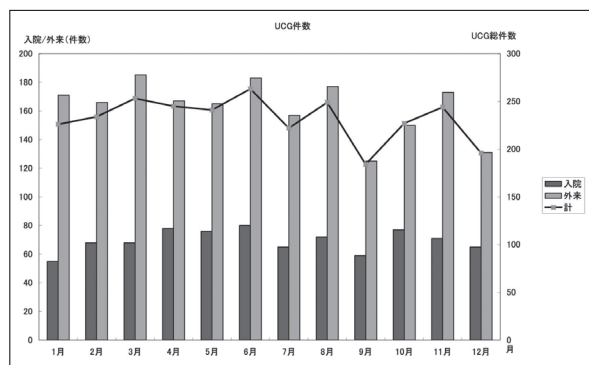
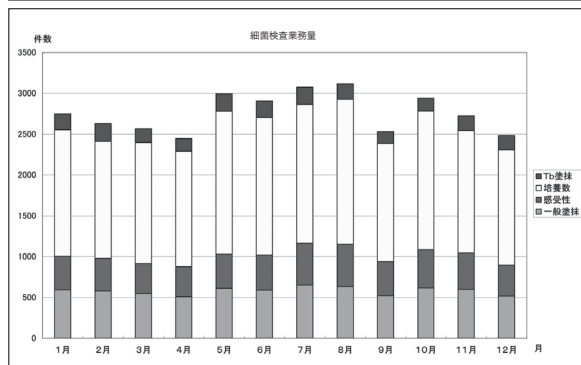
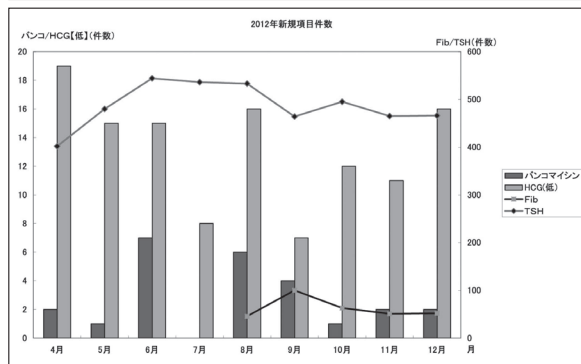
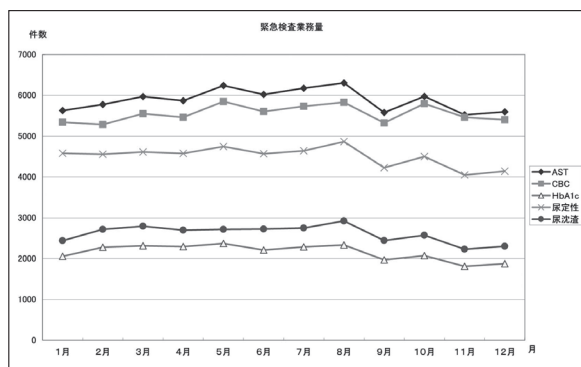
### ◆臨床検査技師の立場から

私が学生の頃は医師の診療を円滑に進めること、検査結果を速く正確に届けることを求められておりました。現在では前述の要求に加え、患者様やその家族、コメディカル、病院経営者からチーム医療の一員として感染対策・医療安全・栄養サポート・患者教育・地域の保健医療活動・コンサルテーション業務に携わることが求められているフィールドの広い職種と感じております。

検査科 科長 大久保智子

### 3. 業務内容

生理検査・血液検査・生化学検査・一般検査・免疫学検査・輸血検査・細菌検査・病理検査・採血業務を行っています。

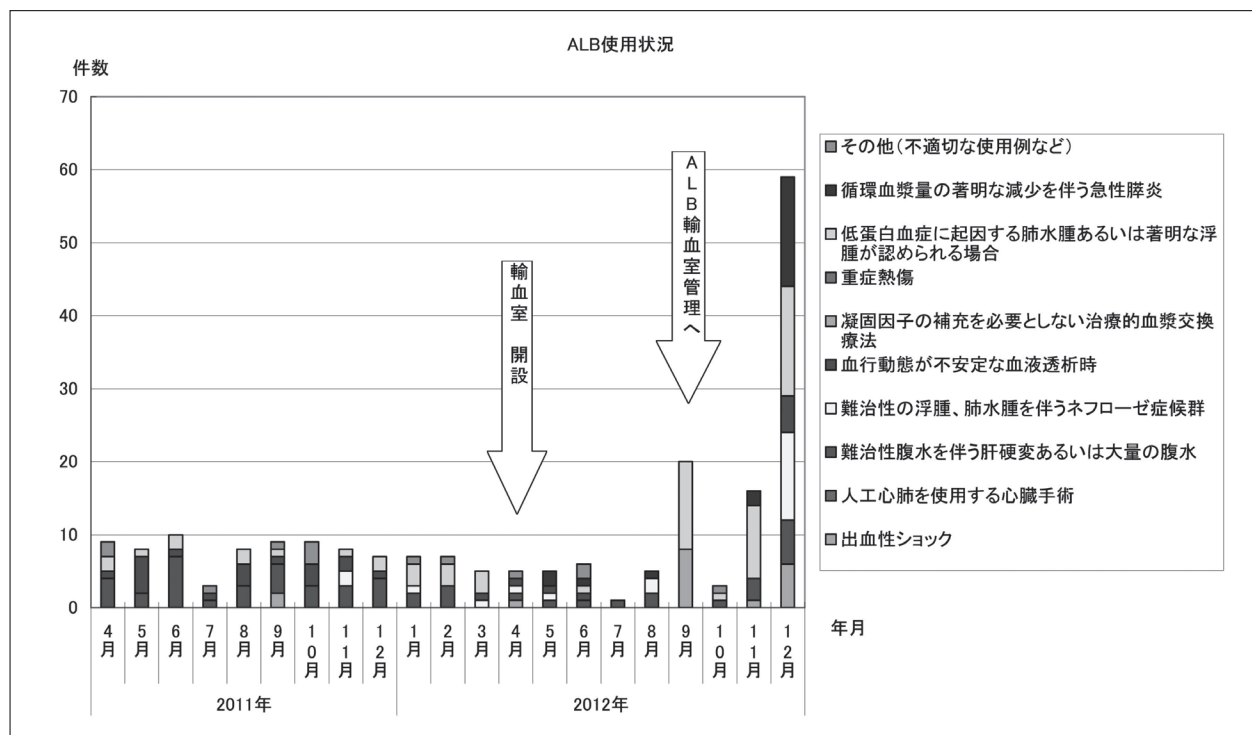


2012年は4月より甲状腺関連項目、HCG 低濃度領域、8月よりFib（フィブリノーゲン）の院内検査を開始しています。

検体管理加算Ⅳ・輸血加算Ⅱ・輸血適正使用加算取得 I&A 施設認定取得

### 4. 教育研究活動

【検査科主催学習会（院内向け）】



8月 採血管について 協力セキスイ

10月 生化学・免疫検査 検査データの見方・  
考え方 協力栄研科学

心電図勉強会 不整脈編 協力フクダ電子

IPFの有用性について 協力シスメックス

2月 『事故のヒューマンエラー』人間の特性  
大久保

3月 『骨粗鬆症』 尾形・牧田

【研修】 12月 BLS研修 小野寺Ns

【科会議学習会】

4月 接遇DVD DVD学習

5月 40回総会方針DVD DVD学習

6月 『診療報酬』 経営委員会 藤元

7月 『サマー増資』 地活委員 大塚  
『エネルギーについて』 省エネ推進委員会・  
大久保

8月 『白血病の話』 小川

9月 『ヘルシンキ宣言』 読み合わせ  
『VVR対応』 RPG 石川

10月 『KYT』実習 採血センターの環境 崎山  
『バーバル・ノンバーバルコミュニケーションの  
違い』 村上

11月 「みんなでつくろう! 『いのちの章典』」  
大久保

12月 『症例報告の仕方』 村上

【県連内発表】

医療生協さいたま 学術運動交流集会 9演題

県連 検査部会学術集談会 28演題

【学会・研究会発表】

臨床医学検査学会 1演題

日本検査血液学会 2演題

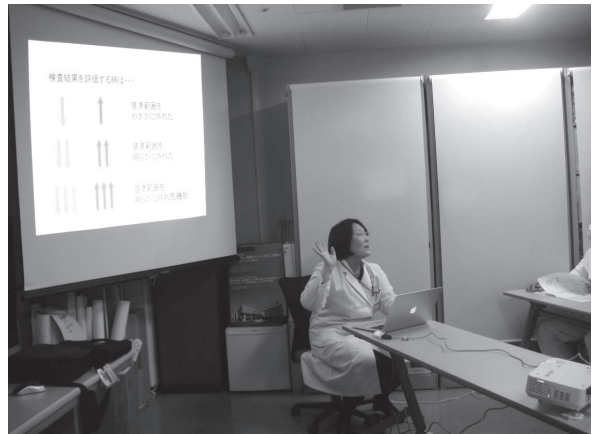
全日本民医連 救急医療研究会 1演題

全日本民医連 消化器研究会 1演題

日本検査血液学会雑誌の『検査室より』に記事  
を掲載



検査部会学術集談会



検査科 R-CPC



BLS 研修

## 18. 放射線科

### 1. 概要

2011年4月より吉田英夫医師（常勤放射線科医師）が放射線科部長として着任し、画像診断、IVRを担当しています。画像診断では、常勤換算0.5名の非常勤医師を含め、ほぼ全ての画像について読影を行っており、画像管理加算を取得しています。IVRでは、消化器科医師と共に、肝臓に対するTAEをはじめ、止血術、BRTOなど各診療科の要請に積極的に応えております。

また、CTやMRIにおける造影検査の増加に伴い、造影剤による副作用や皮下への漏れの報告も増え、放射線科医師として対応の指示を行っております。

### 2. スタッフ

部長 吉田英夫 放射線科専門医  
放射線診断専門医

## 放射線画像診断科

### 1. 概要

各診療科から依頼される各種検査および健診を中心に業務を行っています。画像を提供するだけでなく、診療放射線技師として医師による画像診断の補助に積極的に関わることを目指し、超音波検査、上下消化管造影検査では技師コメントを読影レポートに記載しています。また、画像診断の結果が確実に診療に活かされ、

#### 設置機器

一般撮影装置	4
乳房撮影装置	1
ポータブル撮影装置	3
X線TV装置	4
CT	1
MRI	2
Angio	2
Echo	3
ESWL	1

見落とされることがないように、放射線技師が読影レポートの内容と受診状況を確認し、必要に応じて主治医に報告するフォロー体制を確立し、毎日の業務としています。

保有している機器は右下のとおりです。

### 2. スタッフ

診療放射線技師：21名

（科長1名、主任1名、副主任1名を含む）

事務2名

### 3. 実績

2012年1月～2012年12月 統計

放射線検査数		健康診断検査数	
一般	56,085	胸部	22,922
TV	1,419	MDL	8,649
エコー	7,180	腹部エコー	3,389
CT	13,613	乳房エコー	494
MRI	5,128	マンモグラフィー	3,474
Angio	492	DEXA法	655
		胸部CT	48
		内臓脂肪CT	69

### 4. 教育、研究活動

#### 【学会発表】

埼玉県放射線技師会 2012年3月

演題	演者
十二指腸腫瘍に対する低緊張性十二指腸造影	安部小百合
造影超音波検査における肝血管腫の検討	伊藤 紘子
乳腺領域におけるエラストグラフィの有用性	新島 正美

**【取得・認定一覧】**

施設取得認定

検診マンモグラフィ認定施設

個人取得認定

放射線管理士

酒井 晶子                      神山 和明

横山 拓也

放射線機器管理士

酒井 利幸                      酒井 晶子

神山 和明

検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師

新島 正美                      戸次 美紀

石川 佑子                      伊藤 紘子

成田恵里子

超音波検査士 (消化器)

新島 正美                      成田恵里子

超音波検査士 (体表臓器)

新島 正美                      成田恵里子

胃がん検診専門技師

松本 茂                          田中 一臣

埼玉放射線技師会胸部認定

大谷 祐貴                      神山 和明

横山 拓也

所属学会	所属人数
放射線技師会	14
日本乳腺・甲状腺超音波学会	1
日本超音波学会	9
循環器画像研究会	1
乳癌検診学会	1
日本消化器癌検診学会	3
全国循環器撮影研究会	1

**【学会所属人数】**

**5. その他**

放射線被曝低減施設認定を 2013 年度の取得を目指し業務整備を開始

**19. リハビリテーション技術科**

**1. 概要 特徴、特色**

この間、一般病棟の入院患者さまに対して、早期からのリハビリテーションの開始とリハビリテーションが必要な方への実施（介入率増加）に取り組んできました。また、整形外科や回復期リハビリテーション病棟退院後で継続してリハビリテーションが必要な方に対して、外来にてリハビリテーションを実施しております。

**2. スタッフ**

2012年12月現在

理学療法士 29名 作業療法士 10名

言語聴覚士 6名 事務 1名

**3. 業務内容**

入院リハビリテーション

- ・機能・能力回復・社会復帰のためのリハビリテーション
- ・他職種カンファレンス（病棟カンファレンス、在宅調整カンファレンスなど）
- ・家屋調査（退院前訪問指導）
- ・自主トレーニング指導（退院時指導）
- ・外来リハビリテーション（当院退院後の方を中心に実施）
- ・機能・能力回復・社会復帰のためのリハビリテーション
- ・在宅生活継続及び負担軽減の相談及びリハビリテーション
- ・介護保険サービス移行に関する相談

保健予防活動

- ・保健教室、健康ひろば、患者会、その他班活動への講師派遣

患者会活動

- ・のびる会（脳卒中患者会）担当

後継者育成



- ・養成校からの実習受け入れ
- ・高校生専門職体験

#### 4. 教育研究活動（外部発表）

- ・第22回神経リハビリテーション研究会 3  
演題
- ・埼玉県理学療法学会 2演題

## 20. 食養科

### 1. 概要（特徴・特色）

患者様に安心して、おいしい食事を楽しんでいただくため、2003年にニュークックチルシステムを導入しました。徹底した温度・衛生管理のもと、手作りにこだわり、家庭的で心の通う食事提供をめざしています。また、調理師も積極的に病棟へ足を運び、患者様ひとりひとりの嗜好や状態に添うことを大切にしています。直営で顔の見える関係を築き、どんな小さな要望にも個別に応えています。

献立は4週間のサイクルメニューと毎日の選択メニューです。なかでも季節献立と月1回の行事食は人気が高く、患者様から多くの感想が寄せられます。その他おやつワゴンサービスやバイキングなど、病棟に合わせたサービスも実施している。こうした給食運営は調理師が主体的にすすめており、満足度調査や病棟訪問の声を、献立改善や新サービスの展開につなげています。

管理栄養士は、入院中、患者様にご自宅での食生活を踏まえ、退院に向けた食事相談を実施。栄養状態や嗜好を把握し、治療に役立つ栄養管理を行います。さらにチーム医療に力を入れ、NSTをはじめ、糖尿病・消化器・循環器・呼吸器・緩和ケア・褥瘡など各チームに参画しています。外来では食生活相談を月300件以上実施。多職種と連携して糖尿病教室や特定保健指導、透析相談、乳児健診、アレルギー相談、在宅訪問などにも取り組んでいます。さらに、地域では医療生協の組合員の健康づくり活動が盛んに行われており、病気を予防するための食事の講演や調理実習など、病院の外にも数多く出かけています。医療と予防の分野で活躍の場を広げているところです。

### 2. 体制・スタッフ

責任者 科長 管理栄養士

主任 管理栄養士  
主任 調理師  
副主任 調理師  
NST専従 管理栄養士  
管理栄養士 常勤10名 非常勤5名  
栄養士 常勤1名  
調理師 常勤13名 非常勤3名  
調理員 非常勤12名

### 3. 業務内容

フードサービス概要

食数 750食/日

配膳時間 朝 7:30

昼 13:00

夕 18:00

ニュークックチル方式による給食システム

サイクルメニュー 28日

選択メニュー 3食毎日 全体の20%実施

調理師による病棟訪問 月60件

特食加算比率 45%

行事食(月1回)、クックサーブ(週1回)、

小児科クッキー(週1回)

産科お祝い膳(週2回)、誕生日ケーキ、バイキングなど実施

給食日より「ごちそうさま」の発行

食数管理、献立・発注管理は管理栄養士が担当

その他

・院内レストラン「レストラン虹の森」の運営・

調理 300食/日

・備蓄食 食品常食 400食×3食/日×3日分  
=3600食

水 400人×2L/日×3日分=2400L

ミキサー・流動食 20食×3日分

地方自治研究全国集会 2012年9月29日

・福島県双葉町における災害支援の取り組みについて  
管理栄養士 吉田 昭子

埼玉民医連 学術運動交流集会 2013年2月3日

・産婦人科病棟での食事サービス向上への取り組み  
栄養士 齊藤 浩二

・SHJ推進委員を通して学んだ事

調理師 原田 敏次

・健康づくりの店としての取り組み

調理師 菅原 芳治

・乳腺医療チームでの栄養士の取り組み

管理栄養士 須崎 直美

### 4. 教育活動

職場内・院内院外学習会

日本栄養士会

(演題発表)

## 21. ME科

### 1. 概要

臨床工学技士は医療機器の専門技術職であり、業務内容は医療機器保守管理、血液浄化療法を中心に、患者教育、スタッフ教育など幅広く行っています。院内における医療機器管理の重要性や臨床工学技士の必要性が高まってきたことから、現在は技術系部門の1つとしてさまざまなところで活躍し、チーム医療の一員として医療の質や安全性の向上に貢献しています。2012年度からは部門名を「ME管理室」から「ME科」へ変更しました。

### 2. 部門理念

—医療機器の安全性と信頼性の向上を目指して—

#### ■医療機器の専門職としての役割の発揮

医学的知識と、工学的知識を十分に生かしながら、医療従事者として一人一人を大切にし、安心して治療できる病院、安心して働くことのできる職場を目指します。

#### ■安心して使用できる医療機器の管理をします

医療機器の専門職として点検・修理等、ME機器管理を通して安全性、信頼性の高い医療機器の提供をします。

#### ■医療機器に関する事故ゼロを目指します

予防保全やスタッフへの教育により医療機器に関連の事故を未然に防ぎ、機器関連の事故ゼロを目指します。

### 3. 行動指針

#### ① Safety (安全性)

何よりも優先されるべきことである。安全最優先のマニュアル・ルール作り

#### ② Courtesy (礼儀正しさ)

笑顔・挨拶・患者、職員の望みに応える・相手の立場に立って考え、行動する

#### ③ Efficiency (効率)

チームワークを大切にし、ムダを省くことを常に心がける

### 4. スタッフ

○臨床工学技士：9名（2012年度 入職者：0名  
退職者：1名）

○科長：小野秀敏

○スタッフ：原島貴彦・吉田幸司・吉川雪子・篠塚陽子・手嶋宏司・菅隆太・藤本政幸・丸岡早紀

### 5. 資格取得状況

透析技術認定士

小野 秀敏

原島 貴彦

吉田 幸司

吉川 雪子

篠塚 陽子

3学会合同呼吸療法認定士

吉田 幸司

吉川 雪子

篠塚 陽子

医療機器情報コミュニケーター [MDIC]

小野秀敏

吉川雪子

### 6. 医療機器管理業務

主な管理対象機器一覧 ( ) 内台数

人工呼吸器 (12)・麻酔器 (5)・除細動器 (6)・エアマットレス (45)・輸液ポンプ (95)・血管エコー (2)・シリンジポンプ (35)・加温加湿器 (14)・低圧持続吸引機 (8)・透析装置 (33)・生体情報モニタ (25)・パルスオキシメータ (39)・保育器 (6)・AVインパルス (14)・経腸ポンプ (3)・AED (7)・吸入器 (68)

### 7. 血液浄化業務

透析室 (30床) での業務を主として、維持透析

の導入から管理、緊急透析など幅広く行っています。患者さんが安心して透析を受けられるように機器の保守管理だけではなく、水質管理、ダイアライザーの選定・効率評価や患者さんへの導入時の指導などを行っています。

緊急での血液浄化療法にも対応しています。

#### ①種類

HD・HDF・CHD・CHF・CHDF・DHP・PP・L-CAP・LDL吸着・CART

#### ②実績

維持透析件数：8540件

維持透析以外：199件（59名）

### 8. 教育・研究活動

埼玉民医連 学術・運動交流集会（5演題）

- ・シャント管理を導入して（原島貴彦）
- ・緊急血液浄化療法の実施状況のまとめ（手嶋宏司）
- ・手術室業務の取り組みと課題（小野秀敏）
- ・当院におけるペースメーカー業務への取り組み（吉川雪子）
- ・滴数制御型輸液ポンプの流量精度について（藤本政幸）

### 9. 2012年度振り返り

2012年3月より手術業務を開始し、手術室担当のMEを配置し始めました。2012年度に入ってから、担当者も3名増員しながら業務拡大を実施しました。麻酔器の立ち上げや、人工呼吸器での搬送などを行うようになりました。

ペースメーカー業務も1名研修を行い、体制の整備を実施しました。

## 22. システム管理課

### 特徴

電子カルテをはじめとして、病院内の医療に関わる記録や事務的な仕事のほとんどがコンピュータで行われています。病院内にコンピュータが約500台あります。そのコンピュータシステムの運用・管理を行っているのが、システム管理課です。

### 【職場のモットー】

#### My Idea My System My Tool

この「My」は、システム管理課の「My」ではなく、電子カルテなどのコンピュータシステムを使用する職員一人ひとりの「My」です。

私の思い・考えが伝わるシステム。

（システムを作るのはシステム管理課のメンバーや業者のSEですが）

一緒に考え・作ることで、あたかも私が作ったようなシステム。

そして、仕事をする上で、使い勝手の良い私の道具のように使えるシステム。

そんなシステムを一緒になって作り出したい。

体制：3名 医療情報技師の資格取得（2名）

### 業務内容（職場の使命）

#### 1. 情報システムの適切な運用を行います。

病院の医療・経営活動の多くが、電子カルテ・オーダリング・医事会計システムをはじめとしたコンピュータによる病院医療情報システムで運用されています。

医師をはじめとした医療従事者が、患者様への医療の提供を適切に行うことができるように情報システムの安定的稼働をはかっています。障害の発生を未然に防ぐ手だてを行い、障害時はすみやかに復旧ができるように最善を尽くしています。

## 2. 医療の安全性に寄与し、診断治療をバックアップできる情報システムを提供しています。

病院情報システムが、患者様の「自己決定」に役立ち、医療の安全性に寄与し、診断治療をバックアップできる情報システムを提供できるようにしています。情報システムが業務の合理化・効率化をすすめ、医療従事者が患者様への質の高い医療サービスの提供ができるようにしています。

## 3. 医療経営情報の把握できるシステムを開発し、医療の質の向上に貢献します。

電子カルテなどの医療情報システムのデータや経営情報を活用し、医療・経営活動をまとめ適切な提言(医療経営統計・クリニカルインディケータ)ができるシステムを作成し、医療の質の向上と経営活動の改善ができるようにしています。

## 4. 資質の向上に努め、法令遵守をすすめます。

保健医療福祉専門職の一員として医療情報を安全かつ有効に活用・提供ができるように知識・技能の習得に努め、資質を高める努力を行っています。診療情報とシステム管理に関わる関係諸法令と法人規定をしっかりと学び遵守し、必要な諸規定の運用と整備をすすめています。

システム処理依頼件数

2012年 1641件

## 23. 診療情報室

### 1. 概要 特徴、特色

診療情報室の役割は、大きく分けて3つあります。〔1〕医療記録・情報の管理、〔2〕これらの情報を活用した医療の質向上につながる質指標の測定や各種統計の作成、〔3〕診療支援や学術研究活動の支援です。

〔1〕医療記録・情報の管理には、適切な記録とするための監査業務(量的点検と質的点検)、情報活用条件となる診療情報のデータベース管理、過去医療記録の保管管理(外部保管)があります。〔2〕各種統計作成、医療の質指標の測定としては、疾病統計、死亡統計、手術・処置統計などの退院患者統計の作成や約400項目におよぶ医療の質指標を定期的に収集・測定するほか、学会等への実績報告、疫学調査などにも随時対応しています。

〔3〕学術研究活動の支援・診療支援では、認定・専門資格の取得や維持に必要な症例検索や教育施設認定関連の症例データベースへの登録、院内感染サーベイランス(監視)や院内がん登録、手術症例登録などのほか、検索した情報の分析・加工などの支援も診療情報室の業務として行っています。

### 2. スタッフ(2013年1月1日現在)

常勤 4名 非常勤 4名

資格:診療情報管理士(4)、医療情報技師(1)、薬剤師(1)、社会福祉士(1)

認定:院内がん登録実務初級者研修修了(3)

AIS Certification of Completion(1)

### 3. 業務内容

#### ①業務上の変化

救急搬入データの登録管理を9月分より、地域連携課より移管し、要請または受入時の症状分類

を可能にしました。また、従来の院内死亡に加え、外来死亡、在宅死亡の死因登録を開始しました。

#### ②業務実績

- 過去記録取り寄せ・貸し出し：487件
- 病歴登録管理：7714件
- 死因登録：364件（入院273、外来47、在宅44）
- 診療情報検索・調査・提供：121件（学会疫学調査等31、その他90）
- 主治医意見書作成支援：1706件
- 地域がん登録：430件
- NCD登録：652件
- ニュース発行：8回

### 4. 教育研究活動

#### ①外部研修

- ・初級がん登録実務研修(2012年7月2-3日、10月25-26日)：1名参加
- ・DPC研究班セミナー(2012年11月19日)：1名参加

#### ②研究発表

- 1) 2011年度埼玉民医連運動交流集会(2012年1月31日)
  - ・診療データを分析しアクションを創出する力をつける
- 2) 2012年度埼玉民医連学術運動交流集会(2013年2月3日)
  - ・健診データを活用し地域住民の健康増進活動につなげる試み
  - ・チーム医療におけるコメディカルの役割検証を試みて～介入時期の分析から～
  - ・中心静脈カテーテル刺入部位の選択理由～当院はなぜ鼠径部(大腿静脈)が多いか
- 3) 第38回日本診療情報管理学会(2012年9月7日)
  - ・ライオデュラ、フィブリノゲン、アスベスト～私たちが調べない限り患者は自分でその事実を知りえない～

### 5. その他

#### ①講演

- ・Quality Improvement 測定値をどう活用するか:全日本民医連Q I 推進事業報告会(2012年3月31日)
- ・経験(スキル)を科学に変える～組織医療の質を問い続けて～:第23回埼玉民医連・薬剤師部会学術集談会講演(2012年11月23日)

#### ②執筆

- ・「どれだけ頑張ったか」ではなく「どれだけよい結果につながったか」をモノサシにする:医療福祉生協のQI(虹のブックレットNo.101)

## 24. 外来医事課

### 1. 概要

当課の病院での役割として、医療の質や接遇の質を維持するため様々な業務を行っています。また、病院で行われる医療行為をしっかりと収入につなげることも重要な役割として存在しています。会計を作成し、保険請求を行ったり、収入として入金される医療費の管理を行っています。

また、業務全体の調整役としての業務も存在しています。会議や様々なチームの運営事務局の役割も担っています。

目の前の患者様と向き合い、患者様と病院で出会う最初の存在として、日々窓口での業務を行っています。

### 2. スタッフ

78人（常勤23人 非常勤41人 当直バイト14人）

### 3. 業務内容

#### 受付・会計チーム（電話センター）

受付会計（常勤7人 非常勤10人）

電話センター（非常勤6人）

後方業務・データ出し等（非常勤1人）

#### ①総合受付業務

総合案内、新患案内、再診案内、新患カルテ作成、生協組合員加入案内、物品管理

#### ②収納業務

会計入力後のお金の収納業務

#### ③電話センター業務

電話案内、予約の受付

#### ④後方業務

予約総括表の管理、運用。データ出し。眼科カルテ管理。

### 内科チーム

16人（常勤6人 非常勤13人）

#### ①内科急患外来

内科急患外来患者受け入れ、救急対応、転送の対応、医師補助業務。

#### ②専門外来

糖尿病、呼吸器、循環器、etc.

内科疾患の専門領域を扱う。

患者受け入れ、予約管理、検査案内。

チーム会議の運営。

#### ③内視鏡業務

内視鏡の予約管理、チーム運営。

### 外科チーム

19人（常勤8人 スタッフ職員1名、非常勤9人）

皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、外科、小児科、整形外科、泌尿器科、婦人科

各診療科の受付業務、予約管理、検査案内。各診療科会議の運営。

### 看護学生担当

1名（常勤1人）

新入職員に看護協会の入会案内、奨学生への企画や、インターンシップの受け入れ。

### 4. 教育・研修・研究活動

- ・2012年6月4－15日 事務総合職インターンシップ
- ・2012年7月2－9日 事務総合職インターンシップ
- ・2012年8月27日－9月7日 事務総合職インターンシップ

## 5. その他

### 外来医事課 理念

☆患者様に寄り添い、心のこもった対応を常に心掛け、患者様に接します。

☆医事業務のプロフェッショナルとして常に学ぶ精神を持ち、勉学に励み、知識の向上に努めます。

☆患者様の満足度を向上させるとともに、職員のやりがいも持ち続けられる職場環境を全職員で作ります。

☆職場内、職場外にかかわらず医療生協さいたま職員としての自覚を持ち、個人情報保護を遵守し、品位を持った行動をします。

☆基本的な人権を尊重し、社会的不平等の是正を目指し、社会保障制度の確立の為に医療制度の改悪に反対します。

☆医療とは対極にある戦争や平和を脅かすものに反対し、平和のために行動します。

## 25. 入院医事課

### 1. 概要

入院指示が出てから入院までの患者様の対応、入院中の患者様の対応を担っています。

病院の医療収入の半分以上を入院診療で占める中、入院で行われる医療行為を正確に、かつ漏れなくお金に替えることは、病院の経営にも大きく関わってきます。

私たち入院医事課では、保険請求業務をはじめ、医師アシスト・看護補助業務といった多岐にわたる業務を担い、医師・看護師が治療・看護に集中できる環境をつくり、患者様への質の高い医療の提供へつなげていきたいと考えています。

### 2. スタッフ

常勤8名 事務スタッフ2名

パート職員11名

### 3. 業務内容

#### 病棟事務

病棟医長・看護長と共に病棟会議を開催し、病棟運営の指揮を担います。年度予算の作成や診療内容の分析・提案などを行います。日々の退院会計や保険請求（レセプト作成）業務も行います。医療費や社会保障制度など、患者様への説明相談にも対応します。

#### 病棟クラーク

全病棟に配置され、入院患者様の診療データや書類等のスキャナ・整備を行いながら、電話対応・窓口患者対応を行っています。

#### 入院係

予約入院の患者様への案内と入院当日までの準備、当日受付。即日入院のベッド調整や入院関係データの収集と分析、発信を行い、ベッドの効率的な運用を行います。



## 手術室

オペ予定表作成や月報の作成など、手術室内での事務業務を担っています。

## 4. 教育研究活動

2012年は診療報酬改訂の年であり、改訂内容や診療報酬の方向性など全職員に向けた学習会の講師を務めてきました。また、病棟運営に関わるデータの分析にも力を注ぎ、セミナーへの参加や分析結果の病棟会議への報告などを実施してきました。

## 26. 医療社会事業課

### 1. 概要

特徴、特色

【理念】～地域に開かれた相談室～

1. 患者様の不安や心配事を受けとめ、社会福祉の専門性を活かし、安心して生活できるよう支援します。
2. 不十分な社会保障制度をより良くするために、あきらめずに患者様とともに運動します。

【職務】

患者・家族が抱える以下のような事柄に対し、個別に相談・援助を行う。また、必要な社会保障制度の活用につなげ、院内の他職種や地域の様々な機関と連携・調整を行い、患者が安心して療養・生活できるような支援を行う。

1. 患者の療養にかかわる問題
2. 経済的な問題
3. 権利擁護問題
4. 介護問題
5. 心理・情緒的問題
6. 医療・介護施設の紹介、活用できる社会保障制度の説明・相談援助
7. 病気に対する医学的な質問や入院中あるいは生活上の不安の解消等
8. 病院のシステムや職員の対応等についてのご意見や質問の窓口

### 2. スタッフ

- ・常勤 10名 (社会福祉士 9名、精神保健福祉士 1名)
- ・非常勤 1名 (社会福祉士 1名)

### 3. 業務実績 (右表参照)

### 4. 教育研究活動

- 実習受け入れ：日本社会事業大学より1名受け入れ
  - 研究発表活動
    - ・全日本民医連消化器研究会
- 「胃瘻造設後の生活変化に寄り添う支援とは何か～MSW退院支援実態調査から考える～」
- 研修活動：埼玉県医療社会事業協会主催「総会・全体研修会」「新人研修」参加

### 5. その他

- ・かわぐちこまりごと相談会 2012 参加
- ・東日本大震災被災地視察 立教大学芝田ゼミと共催
- ・平和学習合宿 in 信州菅平 (松代大本営跡・無言館見学)

### 6. 所属団体

- ・日本医療社会事業協会
- ・埼玉県医療社会事業協会

【相談件数】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
延べ件数	1089	1227	1216	1161	1279	983	1172	1095	1028	993	977	1009	13229
実件数	569	643	637	593	645	500	614	561	516	518	524	548	6868
新規件数	421	560	544	476	522	417	491	430	374	367	411	413	5426
MSW一人当たり延べ相談件数	101	114	113	108	118	91	109	101	105	101	99.7	103	
MSW数（常勤換算）	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	9.8	9.8	9.8	9.8	

## 【利用別】

入院	605	647	635	669	683	536	629	603	608	573	514	523	7225
外来	418	508	518	433	487	408	482	432	371	381	422	453	5313
往診	1	3	0	0	1	1	0	1	4	1	0	1	13
その他	64	69	62	59	107	38	59	56	43	36	40	29	662

## 【相談方法】

面接	536	613	624	556	620	466	566	548	502	529	510	558	6628
電話	527	586	560	570	587	496	573	518	496	447	442	435	6237
訪問	4	7	6	0	3	4	5	3	2	0	6	0	40
その他	21	19	26	34	68	17	26	23	24	16	15	14	303

## 【導入面接】

精神科インターク	40	20	38	35	41	26	35	35	23	13	34	32	372
往診インターク	0	2	2	1	0	0	2	2	1	2	1	1	14

## 【相談内容（重複あり）】

当院への転入院相談	56	57	53	109	69	41	36	37	31	36	47	39	611
受診・受療相談	125	134	128	109	125	107	127	106	76	102	87	103	1329
経済的問題に関する相談	26	19	19	24	20	22	13	15	26	28	22	12	246
対人関係・家族関係などの調整	103	156	130	134	139	130	148	111	117	100	110	89	1467
本人への療養上の援助	267	311	304	278	334	245	330	312	347	363	337	311	3739
家族・知人への介護などの援助	117	106	97	102	99	94	116	139	143	123	127	117	1380
退院計画と調整	332	327	320	337	362	284	334	282	309	252	205	228	3572
社会資源の紹介と活用のための援助	118	190	169	112	122	92	130	104	137	120	125	117	1536
介護保険にかかわる相談・手続き	123	147	146	141	156	97	98	93	62	110	90	118	1381
療養支援会議	15	20	16	15	7	19	10	8	13	10	18	21	172
家屋調査	2	1	1	2	3	5	2	1	1	1	0	2	21
じん肺	0	1	0	3	1	1	2	2	4	2	2	0	18
生活保護申請	1	13	8	13	10	8	4	15	13	2	11	2	100
その他	59	65	66	72	74	58	86	69	51	60	58	45	763
医療安全相談窓口	2	1	4	0	0	3	5	0	0	1	0	0	16

精神科デイケア（実日数）	12	12	13	12	14	11	13	12	11	11	11	12	144
精神科デイケア（のべ人数）	115	115	120	106	100	91	107	98	107	102	103	99	1263

## 27. 地域連携課

### 1. 概要

#### 特徴、特色

- ・2012年度は診療報酬改訂に伴い、地域連携に関わる新しい取り組みがスタートしました。「感染防止対策加算Ⅰ」「感染防止対策地域連携加算」の取得に伴い、他院との合同カンファレンスを年4回行うことが条件とされ、川口管内の連携実務者が集まり「合同カンファレンス形式」で共催することで合意し、年4回の感染防止カンファレンスを通じて、事務だけではなく医師・看護師・薬剤師・検査技師などの各専門職種の連携の拡がりも作れました。
- ・「救急搬送患者地域連携紹介・受入加算」の要件拡大に伴い、昨年度の3医療機関から34医療機関との連携合意を結ぶことができました。実際の算定も昨年1件から7件に拡大しました。
- ・11月10日に開催した「地域医療懇談会」では、過去最多となる30医療機関68名の方に来院してもらいました。医師会長をはじめ、川口消防本部の救急課長など行政の皆様の参加もあり、地域の急性期病院としての役割や期待が高まっていることを実感しました。

### 2. スタッフ

常勤3名(事務総合職2名、社会福祉士1名)、非常勤1名(事務)

### 3. 業務内容

地域連携課の主な業務は、①診療情報提供書及び返書のデータ入力と郵送、②他院からの即日入院や受診窓口(高額機器検査を含む)、③訪問活動に分かれています。

#### ①診療情報提供書及び返書のデータ入力とアシスト業務

1ヵ月に400～450件前後の診療情報提供書及

び返書を「病院名」「診療科」「目的」「病名または病状」などのデータとして集積しています。医師アシスト業務として「事務返書」(1次返書=来院報告)や診療情報提供書の下書きも行い、適切なタイミングで返書の依頼も行っています。

#### ②他院からの即日入院や受診窓口(高額機器検査を含む)

地域の開業医を中心に緊急入院の依頼窓口となっています。入院依頼をスムーズに行う業務手順として「ベッド調整」から「リーダー医師」への確認を5分以内で行い、返答するようにしています。

また、各専門外来の受診・予約の調整を行っており、患者・開業医のニーズに応じて適切に対応しています。MRI・内視鏡検査など的高額機器の共同利用の窓口にもなっています。

入院相談：月平均55件

受診相談：同123件 検査：同68件

#### ③訪問活動

- ・2012年度は課内の体制から火・金の定期訪問が中心となりました。
- ・定例の眼底依頼、各検査関連や返書のお届けが中心。広報紙「ふれあい」の開業医インタビューは継続して行いました。
- ・地域の急性期病院が主催する「地域連携の会」に出席し、連携実務者会議(4ヵ月に1回)も継続して行いました。

### 4. 教育研究活動

- ・埼玉民医連学術運動交流集会「2012年度 地域連携の取り組み」
- ・全日本民医連救急医療研究会 第1回学術交流集会  
「救急医療を発揮する地域連携の取り組み」

## 28. 安全企画室

### 1. 概要

#### 特徴、特色

患者と職員の医療安全活動を推進し、患者と職員を医療事故からまもるため専従の医療安全管理者が配置されています。院内外の医療安全対策に関連する縦横の組織を、中核となって取りまとめる役割を担います。一方で、専任の事務を置き、管理部の補佐として病院機能を維持するために必要な文書作成や申請・手続きを実施し、文書を管理する役割も有しています。

### 2. スタッフ

専従安全管理者：1名

常勤事務：1名

非常勤事務：1名

嘱託カウンセラー：1名

### 3. 業務内容

#### ■医療安全活動推進

- ・職員から報告されたインシデント・アクシデントの報告書を集約
- ・事故発生時の調査及びヒヤリング
- ・医療安全委員会、部門リスクマネージャー会議の開催と推進
- ・安全管理に関する広報・教育・研修の立案
- ・職員の労働衛生を推進するためのデータの集約とメンタルヘルス
- ・院外の医療安全活動組織への参加

#### ■病院機能管理補佐

- ・公機関への各種申請業務
- ・病院運営上必要な書類の収集と保管・管理

### 4. 教育研究活動

■職員に対する医療安全に関する教育は、当部署が管理・実施しています。

#### ■スタッフにおける教育状況

##### 医療安全に関する学習

- ・医療安全講習会「暴言暴力対応の基本」参加
- ・医療安全講習会「職場コミュニケーションスキルとノンテクニカルスキル」参加
- ・eラーニング「チーム STEPPS」実施、「ひやり事故報告5年間のまとめ」実施

##### 感染対策に関する学習

- ・eラーニング「VRE アウトブレイク感染対策」実施
- ・院内感染対策学習会参加

##### 防災対策に関する学習

- ・講習会「災害想定に基づく対応訓練」参加

##### 個人情報に関する学習

- ・eラーニング「個人情報学習」実施

その他、スタッフの専門的知識を向上させるため、外部の学会や研修会

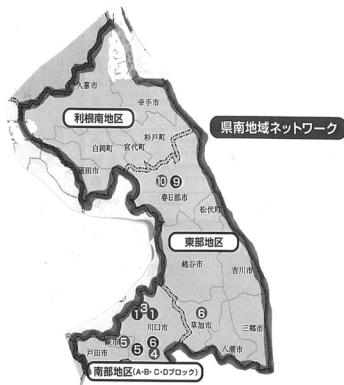
- ・働くものの命と健康を守る交流集会 1名参加
- ・医療の質・安全学会学術集会 1名参加
- ・全日本民医連医療安全交流集会 1名参加
- ・県連学術運動交流集会 1名発表

## 29. 組合員活動課

### 1. 概要

私たち組合員活動課は、組合員・住民の「健康で安心した暮らし」を実現していくために、医療生協の活動を知らせ、「参画」してもらい、全職員や他団体の協力のもと、社会に働きかけ、「地域まるごと健康づくり」を目指しています。

県南地域ネットワークの南部地区A・Bブロックを主に担当しています。



### 2. スタッフ

常勤職員：3名 パート職員：1名

### 3. 業務内容

○「健康で安心できる暮らし」のために

「昨日よりも今日が、そして明日が、いつそう意欲的に生きられる（医療生協の健康観）」ように、「8つの生活習慣と2つの健康指標」の実践や、まちなみチェックなどで「安心して暮らせる」よう働きかけます。



東川口支部 ストレッチ・セラバンド

○医療生協の活動を知らせ参画してもらうために  
まだ医療生協を知らない方に、加入してもらえるよう「仲間ふやし」を行います。

また、組合員には、「班を基礎にした自主的支部活動」や「事業活動」を知らせ、利用・参画してもらいます。



根岸支部 ミニデイサービス

○全職員や他団体と協力していくために

全職員が医療生協活動に関われるよう「支部」と「職場」のパイプを太くし、地域の他団体との協力・共闘も広がっていきます。

○社会に働きかけ「地域まるごと健康づくり」を目指すために

憲法9条・25条が息づいた「すべての住民が笑顔で暮らせる地域社会」をつくるために「ひとりひとりが主人公」となるよう社会参加をしていきます。



### 4. 教育研究活動

組織担当者研修会

全国・関東甲信越での活動交流集会への参加 等

## 30. 健康管理課

### 1. 概要

健康増進センターの運営を行い、健康診断の予約から実施、結果返しの実務など健康診断に関する業務について担当しています。

特徴：特定健診特定保健指導、企業定期健康診断、労働安全衛生法にもとづいた健診から生活習慣病予防健診、子宮がん、乳がん検診など大人の健診を専門としています。健康管理課は事務スタッフで構成していますが、医師を中心とした技術スタッフ、保健師等の看護スタッフについては各部門から増進センターの運営スタッフとして配置され、協力してセンターを運営しています。

特色：年間約2万5000件の健康診断実施  
健康診断後の2次健診実施

### 2. スタッフ

常勤事務職員：5名、非常勤事務職員16名

### 3. 業務内容

2012年度事業所健診：1万1840件  
協会健保生活習慣病：3371件  
川口市国保特定健診：2220件  
川口市国保人間ドック：2495件  
人間ドック：821件  
その他川口市がん検診等も実施。

### 4. 教育研究活動

日本人間ドック学会をはじめとした学会などの主催する研修会などに参加しています。

## 31. 資材課

### 1. 概要

病院で使用する医療材料・伝票類（印刷物）・事務用品などの購入業務を行っています。

### 2. スタッフ

常勤職員3名 スタッフ職員1名

### 3. 業務内容

- ・医療材料の『購入・入出庫・在庫管理』業務。
- ・印刷物や事務用品、日用品の購入・入出庫管理業務。
- ・棚卸し決算集計（請求書）業務。
- ・見積り・価格交渉（通常）業務。
- ・全県医療材料のマスター管理。
- ・医療材料の情報発信。
- ・医療材料の問い合わせ窓口。
- ・医療機器等の修理受付、各業者依頼業務。
- ・SPD（院内物流）委託業者との連携業務。

### 4. 教育研究活動

2012年度は、全日本民医連医療材料担当者会議に11月と3月に参加して、医療材料をめぐる情勢の学習と全国の動向を知り、価格交渉に役立ちました。

また、医療材料委員会の報告書から医療材料の説明ミニ学習を行い、正しい理解と正確な業務が行える力量をつけました。

### 5. その他

2012年7月から資材課の部門編成により、医療材料と医薬品（薬剤センター）に分かれ編成されました。病院機能評価による手順書・作業書の整備など、部門編成により変更や更新する業務を行いました。

2012年度には、償還価格改定があり、業者・メー

カー（全42社）と価格交渉を実施しました。

影響額は、法人全体で32,185,575円（2012年4月から2013年1月までの10ヵ月実績）の収入減となり影響額を少なくする手だてとして、5者間交渉「病院・法人・SPD・業者・メーカー」を初めて行い、合計9回の価格交渉を実施しました。その結果、法人全体での遡及金額は19,148,613円となりました。

## 32. 総務課

### 1. 概要 特徴、特色

主な業務「総務」「人事労務」「経理」

### 2. スタッフ

常勤職員：3名      スタッフ職員：2名

### 3. 業務内容

総務業務：来客対応、慶弔対応、制服・ロッカー管理、電子錠・名札・職員駐車場許可証の発行・管理、印刷機等の機器や売店管理等。

人事・労務業務：職員の募集、職種毎の免許証や履歴書の管理、労働災害処理、健保関連処理、勤怠処理、入退職員の手続き、その他福利厚生等。

経理業務：請求書の処理、振込み、出資金処理等。

### 4. 教育研究活動

2012年は職員の福利厚生の手続きに関する知識を深める学習会を開催し、力量アップに努めました。

### 5. その他

春は院長交代に伴う案内の発送や、名前の差し替え作業などを新入職員の受け入れと共に実施しました。年間通じては地域の組合員さんの病院見学を9回受け入れ、病院の機能や施設の説明案内を行いました。12月には「第46回衆議院議員総選挙」の不在者投票を実施し、入院療養中の希望されたすべての患者様が投票して顶けました。また、協同病院の職員は常勤パートを含めて、1000人を超えております。入職時のスムーズな受け入れを心がけ、新卒看護師の資格申請手続きの支援や、福利厚生等の情報共有を進めるため、全職員向けのニュース「通船堀」を月1回発行し、諸手続きの方法、申請書類のルール等をお知らせし、職員が申請漏れや不利益にならないための情報発信を心がけています。



## 33. つくし保育所

### 1. 概要 特徴、特色

1978年に看護師確保法に基づいて設置された、埼玉協同病院、院内保育所です。埼玉協同病院の他に川口診療所、浦和民主診療所、ヘルパーステーション、ケアステーション協同、老健施設みぬま等たくさんの事業所からの利用があります。医師、看護師、技術職等の職員のお子様の産休明けから2歳児までを中心に0歳、1歳、2歳以上の3つのクラスに分け保育を行っています。よく遊び、よく食べ、よく眠る、を3本柱に心身健やかに元気に過ごせる子どもを目指しています。

### 2. スタッフ

○常勤3名 日勤パート職員8名 調理師1名  
夜間パート職員3名

### 3. 業務内容

- ・保育業務全般（在籍児、臨時、夜間、休日 体験保育（組合員））
- ・小児科病棟保育（12年度から保育所業務となる）
- ・小児科壁面製作
- ・小児科1ヵ月、乳児健診——赤ちゃん体操、生活リズム、スキンケア担当
- ・小児科1歳半健診—おやつ、絵本の話担当
- ・小児科ベビーマッサージ教室——ベビーマッサージ担当
- ・小児科フォロー児体験保育
- ・小児科離乳食教室保育
- ・産婦人科経産婦うぶ声教室保育
- ・子育て教室——親子リズム担当

### 4. 教育研究活動

小児科Drを講師に、熱中症とアレルギーの学習会を部門で行いました。全員で知識を共有し、保育に役立てることができました。

### 5. その他

4月は14名の在籍でスタートしました。年間を通して季節の移り変わりや行事を楽しめるように、行事や行事食を計画し実施しました。

今年度、在籍児の家庭の様子を知り、保育に生かせるように保護者との個人面談を行いました。また、保護者との交流をはかるため月1回の父母会を開き、秋祭りでは父母会と協力して、肥田舜太郎先生の講演会を開催しました。年度末は20名の在籍でしたが、17名の子が公立保育所、幼稚園等に移行しました。

地域の子育て支援としては7月～11月まで計4回、組合員さんを対象に園庭を開放し、遊ぶ体験、学習会、育児相談を行いました。また、わいわいサークルの班会の講師として9回参加し、組合員さんの要望にそった学習会を実施しました。

## 34. 環境管理課

### 1. 概要

#### 特徴、特色

病院の建物と施設管理、運行業務を円滑に実施するための管理・監督が主な業務です。

### 2. スタッフ

常勤1名とパート2名です。

### 3. 業務内容

多くの業務は、委託業者と連携して、また様々な専門業者に依頼して、さらに保守契約を結んで実施しています。

- ・病院の建物、空調や電気等の施設管理業務
- ・日常的な清掃と突発的・不定期の清掃、廃棄物の管理業務
- ・防災センターや正面玄関・駐車場の警備・誘導業務
- ・郵便・診療所・地域便や往診の運行管理業務

### 4. 教育研究活動

2012年度は、病院の公用車の管理管轄している部門として、省エネ推進事務局の書記として、各々で企画・立案して実施しました。

- ①安全運転の講習会を年2回実施しました。
- ②年2回の環境学習会を開催しました。

### 5. その他

2013年5月15日から運輸係との統合・合併によって、運行部門が加わった環境管理課になりました。新しい体制や仕組みでの運営が不十分なままに、ISOの維持審査や医療機能評価等の大きな受審をしました。大きな問題はありませんでしたが、課題は多く残しましたので、次年度のやるべき目標と思います。

## 35. 教育研修室 (教育研修センター SKYMET)

### 1. 概要

埼玉協同病院教育研修センター(Saitama Kyodo-hospital Medical Education and Training Center)、略称SKYMETは、埼玉協同病院の教育と研修を担うセンターとして2011年3月16日に活動を開始しました。

SKYMETは、医師の初期研修、後期研修・専門研修および生涯研修の充実をはかることを目的にしています。また、教育研修活動を広く医学生や地域でご活躍の先生方に公開し、連携を深めていきたいと考えています。

SKYMETは、まず、医師の教育研修システムの構築を確立し、「良き臨床医」の養成を目指します。

#### 特徴、特色

〈埼玉協同病院教育研修センター(SKYMET)紹介パンフレット 村上純子センター長の挨拶から〉

埼玉協同病院教育研修センター(SKYMET)が始動したのは2011年3月16日、「3.11」直後でした。あの震災の時、私達、医療に携わる者は皆、己の無力さに立ちすくみながら、改めて自分の使命を心に刻みました。

医療に携わる者には、患者さんに尽くす使命がある……と私は思っています。その為には、個々の臨床能力と病院の臨床能力の両方が、レベルアップし続けなくてはなりません。それを可能にするのは、日々の地道な研鑽です。目先の仕事を片付けるだけでも精一杯な日常診療ですが、今、埼玉協同病院では、文献検索が当たり前に行われ、講演会やセミナー等の学習機会が増え、学会活動も活発に行われています。

「本当に大切なものは目に見えないんだ」(サン・テグジュペリ)という言葉を深く胸に刻み、SKYMETは、“本当に大切な力”を身に付けたい

と努力するスタッフの熱い気持ちに、これからも  
応えてゆきたいと思います。

本戸 文子 医師担当管理

(事務次長)

我妻真己子 医局事務課主任

## 2. スタッフ

センター長：村上 純子 臨床検査部長  
事務局長：松川 淳 教育研修室課長  
スタッフ：小幡 国子  
井上千鹿子 特任研究員  
運営委員：雪田 慎二 初期研修プログラム責任者（副院長）  
関口由希公 後期研修責任者  
(さいわい診療所所長)  
守谷 能和 初期研修委員長  
(消化器科医長)  
小野寺由美子 教育担当管理  
(看護副部長)

## 3. 業務内容

- ①新たな研修プログラムの開発
  - ・初期研修および後期研修プログラム
  - ・シミュレーター等による教育
  - ・医師再教育プログラムの開発（診療所医療、総合診療、女性医師など）
  - ・多職種の研修プログラムとの連携
- ②指導医・指導者養成（臨床研修指導医講習会を毎年開催）
- ③カンファレンス、学習会、研究会の支援
  - ・学習会、研究会の開催支援。
  - ・近隣での研究会情報の収集と公開。

## 教育研究活動

4月		
4月26日（木） 18:30～20:30	講演会	第1回「救急Walk-in、ERで見逃すな」 テーマ：「意識障害とそのピットホール」 講師：櫛 英彦 先生（日本大学）
5月		
5月25日（金） 19:00～20:30	講演会	第2回「救急Walk-in、ERで見逃すな」 テーマ：「救急医療の極意」 講師：寺澤 秀一 先生（福井大学）
9月		
9月5日（水） 18:30～20:30	講演会	Meet the EXPERTシリーズ（1） 【第一部】 18：30～19：30 テーマ：「神経疾患のみかたと対応（脳血管障害、認知症、パーキンソン病）」 【第二部】 19：30～20：30 テーマ：「脳炎の診療におけるピットフォールと最近の動向」 講師：亀井 聡 先生（日本大学 神経内科学 教授）
11月		
11月17日（土） ～18日（日）	研修会	第4回 埼玉協同病院 臨床研修指導医講習会 テーマ：「卒後臨床研修カリキュラム・プランニング」
1月		
1月17日（水） 18:30～20:30	講演会	Meet the EXPERTシリーズ（2） 【第一部】 18：30～19：30 テーマ：「全職種で取り組む緩和ケア」 【第二部】 19：30～20：30 テーマ：「緩和ケアと疼痛管理の基本」 講師：吉澤孝明 先生（要町病院）
2月		
2月8日（金） 18:30～20:30	講演会	感染症から学ぶ診療セミナー テーマ：「感染症診療の実際」 講師：細川直登 先生（亀田総合病院 総合診療・感染症科、IDATEN（日本感染症教育研究会）世話人）
2月23日（土） 2月24日（日）	研修会	がん診療に携わる医師のための「緩和ケア研修会」 主催:日本緩和医療学会 共催:埼玉協同病院
3月		
3月26日（火）	発表会	2012年度 臨床研修修了発表会

④教育研修の地域連携・交流

- ・外部講師の招聘による学術講演、カンファレンス指導、研修症例カンファレンスなど交流の実施。

⑤ホームページ、出版物による活動成果の公開

⑥資格取得、認定施設の管理

⑦初期研修、後期研修修了者のフォローアップ

⑧コメディカルを対象とした教育研修（企画チームの総称を SKYcoMET という）

4. 教育研究活動（前頁参照）

## 36. 看護育成室・感染対策室

### 1. 概要

- ・スタッフ教育・支援
- ・特定分野における看護実践
- ・感染管理全般

### 2. スタッフ

- ・常勤：看護師3名（皮膚排泄ケア・糖尿病看護・感染管理認定看護師）
- ・非常勤：看護師1名

### 3. 業務内容

- ・講師活動（法人内外）

法人外：3件

法人内：17件 院内：25件

- ・コンサルテーション対応（法人内外）
- ・特定分野に関連した外来（糖尿病・フットケア・ストーマ）・病棟ラウンド（ICT・褥瘡）
- ・特定分野に関連したデータ集約・分析

### 4. 教育研究活動

学会・研究会演題発表（法人内外）

- ・全日本民医連消化器研究会（1演題）
- ・全日本民医連学術交流集会（1演題）
- ・医療生協さいたま看護学会（3演題）
- ・医療生協さいたま学術運動交流集会（3演題）
- ・県南DDクラブ（1演題）

研修参加

- ・看護必要度評価者院内研修指導者研修
- ・認定看護管理者研修ファーストレベル教育課程
- ・HAICS キャリアディベロップメント講座（感染管理）
- ・効果的なプレゼンテーション（埼玉県看護協会主催）
- ・高齢者への看護の意味とその実際を学ぶ（埼玉県看護協会主催）

# 37. 診療科：在宅看護科

## 1. 概要 特徴、特色

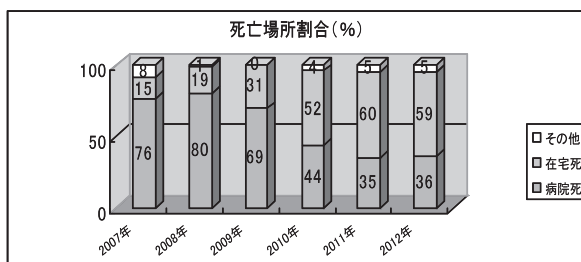
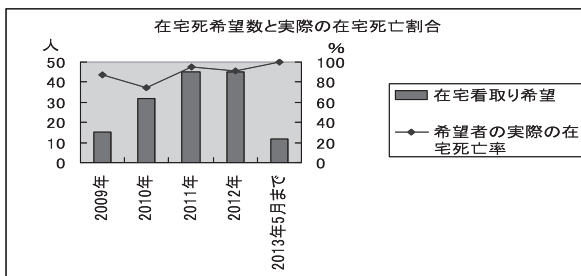
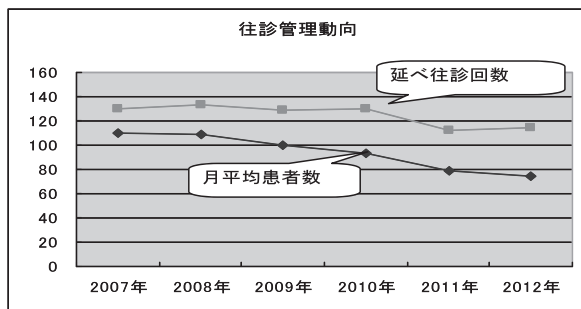
医療依存度の高い患者、終末期患者を中心とする訪問診療の実施。在宅看取りの支援。

訪問診療の患者を支援する地域の医療・介護・福祉事業所、行政との連携。

## 2. スタッフ

看護師 3 名（部門責任者は退院調整看護師兼任）

## 3. 診療実績



### ●特徴的な事例

- ・肺癌終末期の胸水貯留患者に対し、自宅での胸水排出を促す留置ドレーンを使用、管理。
- ・在宅看取りの患者に対し、病院での解剖承諾、実施。

- ・独居老人の自宅看取り。

## 4. 教育・研修・研究活動

- カンファレンス 治療方針確認：96 件、死亡の振り返り：1 件 地域介護事業所とのケアプラン策定：15 件
- 学習会 終末期に関する倫理的配慮 シリーズで 19 回、高齢者虐待、疾患、ケア 11 回
- 研究会 県南在宅医療研究会 2 回参加
- 学会発表
  - ・全日本民医連消化器研究会 シンポジスト
  - ・第 3 回プライマリケア学会発表（1 演題）
  - ・埼玉県看護協会発表（1 演題）
- 研修受け入れ
  - ・院内 本庁研修
  - ・県内 看護大学実習 2 校
  - ・医学生実習
  - ・退院調整研修・法人外 1 病院
  - ・近隣有料老人ホーム 講義

## 5. その他

- 死亡患者の満足度アンケート 胃瘻造設者の家族評価アンケート
- グリーフケアの一環として、死亡 1 ヶ月後にご家族へお悔やみのごあいさつ文を郵送開始

## 38. 経営企画室

### 1. 特徴

経営企画室は、業務を通じて当院の適切な黒字経営に貢献します。

また、部門の皆様からの様々なご要望にお応えして、支援させていただく機会が多々あります。直接現場にお邪魔して、問題解決や課題の達成に現場の方々と一緒にお仕事させていただく機会もあります。現場の方々に近い存在の経営企画室でありたいと、心がけて日常業務にあたっております。

### 2. 業務内容

経営企画室では、経営統計業務・予算作成業務・広報業務を行っています。

#### (1) 経営統計業務

経営管理に必要な数値を集めて、経営月報の作成や予算管理、経営分析等を日常業務として行っています。厚生労働省や日本病院会などの公的な機関からの調査依頼にも、安全企画室と協力して報告書を作成しています。

#### (2) 予算作成業務

診療報酬改定など時節に対応した事業計画書を作成し、予算計画を作成します。また毎月の経営結果を分析し、的確な経営情報を院内に提供します。

#### (3) 広報業務

「広報」は、総務課と協力しながら行っています。広報誌「ふれあい」の編集会議に参加する。ホームページを、委託業者を通じて作成・管理する。当院の医療内容や活動を紹介して、患者利用増や医師・看護師などの求人に貢献することをめざしています。